教育目標：◎目標を持ち自ら学ぶ意欲と創造性に満ちた生徒
◎心豊かで思いやりがある生徒
◎明るく健康でたくましい生徒

R5年10月4日（水）

第７号

神原中学校 学校だより 絆

文責
神原中学校
校長
大城美千代
TEL917-3407
FAX917-3427

和

【神原中学校の生徒の皆さんへ】

今週で第一学期の終了です。皆さんは、この一学期間、学習面や生活面、さらには学校生活全般を通して、自分自身を成長させることができましたか？

とりわけ一学期後半は、例年以上に猛暑が続き、コロナだけでなく、熱中症対策も大変でした。昨今では、インフルエンザも流行しています。本校でも生徒だけでなく先生方にもインフルエンザの感染者が出てきています。

しかし、幸いにも本校では、学級・学年閉鎖・学校閉鎖を回避することができました。これも、みなさん一人一人が朝夕の検温と健康観察を「ダイアリー（diary）」に記載したり、水分補給をこまめに行ったり、「新しい生活様式」を守り体調管理に努めてくれたからです。不安やストレスも大きかったことでしょう。皆さんは本当に偉いです。

一学期後半は、色々な行事がありました。教育実習（三名）、期末テスト、PTA作業、地区陸上競技大会、修学旅行説明会、入試説明会、旗頭フェスタ等の行事に真剣に参加して自分や仲間、学校の為に頑張ってくれました。

自校校長がいつも集会の際に、皆さんにお話ししている四つのことを各自で振り返って下さい。

①生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）
②新しい生活様式（検温・手洗い・ソーシャルディスタンス・換気・密な会話の回避）
③みそあじ（身なり・掃除・あいさつ・時間）の徹底
④自他の良さをたくさん発見し、明るく楽しい充実した学校生活にすること

結びに、十月七日からの「秋休み」の期間中、絶対に事件・事故に巻き込まれることがないよう、安全に努めてください。コロナやインフルエンザ等の感染症対策も気を緩めることなく充実した「新しい生活様式」にしましょう。その上で、楽しく「秋休み」にしてください。家庭の手伝いも率先して行ってください。そして、十月十六日の二学期始業式に全員が元気な姿で会えることを楽しみにしています。

ＰＴＣＡ作業

授業参観

教育実習

地区陸上競技

旗頭フェスタ

保護者の皆様へ

昨今、日本各地で「いじめ」「パワーハラスメント」等による自死（自殺）が繰り返し起こっています。ＳＮＳでのトラブルの自死が増加しているとの報告も国や市町村行政から聞こえてきます。普通の良識からすれば、あってはならない、信じがたいことですが、今一度、立ち止まり、そして振り返り、『何故なのか？』を真剣に考えることが求められているように思います。

元来、「いじめが絶対にない」などと発信できる学校は存在しないと考えます。何故ならば、学校という営みは、社会の縮図だからです。つまり、実社会における大人の現象は子どもたちによって映し出されていると言っても過言ではないのです。

学校で起きる「いじめ」は、子どもの人間関係の複雑さから派生するわけですが、その内容は、子どもの資質の幅の広さから十人十色です。本来ならば、子ども自身で仲間との関係改善を図るべきですが、そうでない場面が多々あります。

要は、保護者が可能な限り学校に足を運び、子どもの学級や保護者同士の交流を密にすることこそが「いじめ対策」の根幹のように考えます。幸い、本校では、学校と保護者・地域が同じ方向を向いて子どもに向き合っていると実感しています。

開かれた学校とは、地域の学校としての気兼ねなく、気軽に保護者自身が来校できる時間帯に、授業参観をし、子どもを激励し、学級担任と連携を密にしながら向き合うＰＴＣＡ活動の一翼になることが重要です。

何故なら、地域社会や学校の中の子どもたちの多様な変化への対応は、複雑化しており、もはや、教師のみの力では限界にあると言っても過言ではないと思います。だからこそ、学校と保護者・地域社会の大人がじっくり時間をかけて相談し合い、相互の足りなさを補い合って教育をすべきではないでしょうか。

結びに、『奪い合えば足りぬ、分け合えば余る』という言葉があります。人間教育の根幹だと思います。その言葉をかみしめて、教師は教壇に立ち、保護者は子どもに向き合うことが、今、求められているように思います。

主な行事

10月

10/5(木)
スポフェス
10/6(金)
1学期終業式
10/7(土)～10/15
秋休み
10/16(月)
2学期始業式
10/17(火)～10/18(水)
3年実力テスト
10/19(木)
生徒会専門委員会
10/20(金)
漢字検定
10/20(土)
県陸上競技大会
10/25(水)
合唱コンクール(なはーと)
10/30(月)～10/10
教育相談